

ユズリハ だより

メール air-tokyo@herb.ocn.ne.jp 66号

2013.11.20 (66)
東京公害患者と家族の会
 文京区小石川5-34-12
 アビタマツモト2F
 TEL03-5802-2170 FAX03-5802-2377
ぜん息110番
03-5840-8446

東京都交渉 臨時ニュースで報告しました

10月31日(木)都庁内において東京都知事本局との交渉が行われました。堀課長他3名の参加により、「東京都医療費助成制度」の継続について話し合いが行われました。交渉の内容は11月5日発送の臨時ニュースで報告しましたが、大事な内容なのでもう一度ご確認ください。東京都から東京都単独で現行制度の継続はできない。国や自動車メーカーに財源の再拠出を申し入れたが断られた。患者会からまず東京都が継続の意



中央、中野杉並支部進藤光子さん



原弁護士からは、患者の不安を考えると、都は明確な発言をするよう促しました。



思を固め、国や自動車メーカーにはもっと強く求めるべき。参加した患者・弁護士・あおぞら連絡会(支援)のみなさんから「再度国とメーカーに財源拠出を求め」との堀課長の意思表示がありました。

11/20 現在ハガキ数
 一九〇〇通に到達
 毎日こつこつと積み上げる努力をしています。
 各支部のみなさん・あおぞら連絡会のみなさん・おぞら医療機関や調剤薬局(現在約5百軒)を一軒々々訪問して、「都知事宛てハガキ」の協力を要請しています。東京都が簡単に制度見直し結果を出せないのは、このようなみなさんの努力があるからです。
 情勢は確実に変わっています。努力の積み重ねが結果につながることを信じて！



10/31文京支部 松井さんから500通のハガキが手渡されました

東京都・都議会議員との面談を重ねています。
 弁護士を中心にして少人数での話し合いもしています。全体交渉では話しきれない細かな確認事項等を補足するためです。
 12月5日(木)都議会では、自民党が「東京都医療費助成制度」について代表質問をする予定です。
10月31日の都交渉を受けて私たちも国と自動車メーカーに「東京都医療費助成制度」継続のために財源拠出を求める要請をすることとしました。
 これからは情勢に応じて行動予定が変更になったり、新たな取り組がきたりします。事務局からのお知らせ等に注意してください。
 正念場となるこの時期こそ、みなさんの協力と互いの信頼が大切になります。よろしくお願いたします

予定とお知らせ

- 11月
 25(月) ユズリハ11月号発行 本部 10:00~
 公害対策まちづくり委員会 本部 13:30~
 28(木) 板橋連絡会「駅頭宣伝行動」大山駅頭18:00~
 29(金) 都議会開会日行動 12:15~12:45
 30(土) 臨時拡大幹事会 アカデミー茗台学習室A 13:30~
- 12月
 1(日)~2(月) 公害被害者総行動実行委員会合宿
 3(火) 弁護士会議 公害センター 10:00~
 泉南アスベスト院内集会・国会行動 11:30~
 5(木) 都議会代表質問傍聴 13:00~
 5(木)~6(金) NO2測定運動 全会員
 6(金) 環境省「勉強会」15:00~17:00、
 板橋連絡会「泉南アスベスト」支援集会 あーちぶらざ 18:30~
 7(土) 板橋支部・連絡会合同会議 14:00~
 11(水) 都庁前行動から変更・自動車メーカー要請 12:00~14:00
 13(金) 救済懇 公害センター 10:00~
 14(土) 東京母親大会ニッショウホール12:30~
 世田谷支部会議・望年会 15:00~
 16(月) 東京民医連定期協議 民医連 10:00~
 弁護士会議 公害センター18:00~
 17(火) 東京あおぞら連絡会理事会 東京地評地下会議室 18:00~
 18(水) 板橋連絡会駅頭宣伝行動「板橋区役所前駅」18:00~ 豊島支部会議 14:00~
 19(木) 北支部会議(王子班) 13:00~
 24(火) まちづくり委員会13:30~
 25(水) 泉南アスベスト判決日行動厚労省前宣伝
 28(土) 三役会議・事務局会議合同会議10:00~

緊急 拡大幹事会のお知らせ

日時 11月30日(土)13:30~
 会場 アカデミー茗台学習A

このところの情勢報告と、これからの方針を話し合い確認するために、各支部の幹事さんだけでなく多くの方々に参加していただくために行います。大事なことが報告されますので、ご参加をお願いいたします。

12月8日(日)の幹事会はなくなりました。



会場がわからない方は患者会事務局へお問い合わせください。
 03-5802-2170

今月号はお薬の使い方「特集」はお休みいたします。



10月31日に行われた日帰りバス旅行の風景



城ヶ島



ヤマモモの並木道

**西東京市の
現地調査報告**

10月10日患者会事務局の大越・富田氏と共に自転車で、西東京市内調査に回りました。朝から三人で回った中で特筆すべきは、見事なヤマモモの並木道でした。常緑樹のヤマモモは街路樹として植えられることはあまりないので、午後の現地確認調査団に合流した時に地域の昔の活動の成果だ



左が歩道・自転車道・車道と広い!

と聞かされたときは感激でした。地元の意見もかなり取り入れられて、ほぼ完成した三・二・六号調布保谷線の広い歩道を歩きながら、新設道路の車道や歩道・自転車道を見ました。自転車道は車道側に作るよう警察庁からの通達があったはずでは?と思いました。

福島寿人

公害対策まちづくり

西東京市の 現地調査報告

10月10日患者会事務局の大越・富田氏と共に自転車で、西東京市内調査に回りました。朝から三人で回った中で特筆すべきは、見事なヤマモモの並木道でした。常緑樹のヤマモモは街路樹として植えられることはあまりないので、午後の現地確認調査団に合流した時に地域の昔の活動の成果だ

11/13 環境省前行動

11月13日(水) 環境省前において昼休み宣伝行動を行いました。

東京都医療費助成制度を継続するためには、国の財源拠出が求められているからです。

一面で報告されています、10月31日の都交渉では、制度継続には国・自動車メーカーの財源拠



出が不可欠と考えていることを再確認しました。

私たち患者会も国とメーカーに財源拠出の要請行動をすることが即日に決まり、11月13日は都庁前から環境省まえに変更になりました。昼休みに往來する人にチラシを手渡し、マイクで訴えました。



当日は午後から全国患者会連合会が自動車重量税廃止反対の「環境省交渉」を予定していたので、全国の患者会(大阪・名古屋南・神戸・川崎・千葉)のみなさんも参加していただきました。

午後は環境省交渉と国会議員要請行動の二組に分かれて行動しました。

自動車重量税は「公害健康被害補償法」という国による認定者の生活補償費の財源の一部になっていますので、同税の廃止は反対しています。

私たちの患者会は、国による認定患者と東京都による認定患者がいいます。紛らわしいですね!

国会議員要請は、「国による新たな救済制度創設」を求める国会請願署名の紹介議員要請をしました。あおぞら連絡会からも多数参加していただき65名の議員の部屋に訪問することができました。

紹介議員とは、国会請願署名の提出を託す議員のことです。



11月14日(木)

日本自動車工業会(自工会)社前の歩道に並び自動車重量税廃止反対の行動風景です。自工会は、自動車業界の先頭に立ち自動車重量税廃止を求めています。排出量に応じて課税する重量税は、環境汚染対策として設定されました。大気汚染被害者団体としては汚染者負担の原則を厳守させたいと思います。自動車重量税廃止について明確になるのは、政府の税制調査会により結論が出

される年末になる見込みです。

都府県への財源拠出を求めて環境省への要請行動

11月21日10時から環境省内会議室において患者・弁護団17名の参加で、東京都医療費助成制度の継続には、国からの財源拠出が不可欠な情勢にあることを伝えました。

患者からは、やっとできた都の制度を守りたいと訴えました。



対応したのは、総合環境政策局。左から3人目調査官 宮島・企画課長 菊池・保健業務室長 近藤氏等でした。

再生可能エネルギー 全国フォーラム

十一月十六日、十七日に、長野県大町市で、再生可能エネルギー全国フォーラムが開催されました。

清水鳩子(あおぞら連絡会理事長)さんが開会の挨拶をされました。

記念講演に先立って、長野県立池田工業高校の

学生により発電水車が紹介されました。水路を利用した小水力発電の水車で、学生たちによって制作や維持、管理がなされています。

前衆議院議員の吉井英勝氏による記念講演で吉井氏は、脱原発と地域経済再生のために乗り越えるべき数々の問題点について、また原発建設当初からの問題、原発で利益を

得るごく一部の人々などについて話されました。

特別報告では、NPO地域づくり工房の傘木宏夫氏により地域の二つの取り組みが紹介されました。

ミニ水力発電の「くるくるエコプロジェクト」と、廃食用油をバイオ軽油燃料として使う「菜の花エコプロジェクト」です。

事務局 富田隼人

菜の花エコプロジェクト
NPO地域づくり工房

菜の花畑
菜の花生産組合
菜の花ステーション
東京菜の花プロジェクト連絡会
飲食店・環境市民団体